

血糖値や血圧が高い方

眼底検査

を受けてみませんか？



目の変化は全く自覚症状のないまま進行することもある、突然起きることもあります。

目に病気がないか調べる『眼底検査』はとても大切です。

年に一度の健康診断では、多くの場合目の検査は視力検査しか行っていません。残念ながら視力検査だけでは、目の病気は発見できません。そのため、目に病気がないか調べる眼底検査はとても大切です。

また、血糖値や血圧が高い方は目の障害が発生するリスクが高くなりますので、定期的に検査を受けるようにしましょう。

どんな検査なの？



眼底カメラで写真を撮影し、血管や網膜、視神経に異常がないか調べます。痛みはない検査です。



眼底検査で見つけることができる主な病気

緑内障

徐々に視野が狭くなりますが、視力は下がらず異変に気付いたときには末期になっています。日本人の失明する原因の第一位です。

網膜血管の動脈硬化・閉塞

眼底は外から血管を直接見ることができる唯一の場所です。高血圧、糖尿病、高脂血症などは動脈硬化が起きやすく、眼底検査で全身血管の状態が予測できます。

糖尿病性網膜症

糖尿病の合併症の一つです。自覚症状が出にくく、見えづらいと感じるころにはかなり進行しています。

黄斑変性

歪む、視野が欠けるなどの自覚症状が出やすいです。

糖尿病の方は必ず定期的な眼底検査を受けてください。



年1回の眼底検査をお勧めします。

ご希望の方はスタッフまでお声かけください。